

令和5年度山口市文化財保存活用評価会議

令和4年度総合評価

評価	評価の内容
A・ B ・C	<p>令和4年度に実施予定とした46の措置のうち、43項目に取り組みました。本年度は、中山間地域を対象としたモデル事業の実施や、築山跡史跡公園の開園にともなう事業の実施に重点的に取り組みました。また事業の実施にあたっては、山口市文化財保存活用推進会議においていただいた意見を参考にするなどし、幅広い年齢層が参加できるよう配慮しました。</p> <p>成果指標では、③観光客数は向上しており、引き続き新型コロナウイルス感染症拡大による落ち込みからの回復が見込まれます。一方で①文化・芸術・歴史に触れる機会に恵まれていると思う市民の割合、②山口市の文化・芸術・歴史に誇りや愛着を持っている市民の割合ともに大きく低下しています。低下の原因や問題点を分析、検討するとともに、山口市民への効果的な情報発信や意識醸成につながる取組を行っていくことが必要です。</p> <p>新型コロナウイルス感染症の状況は少しずつ改善しているものの、前年度に引き続き、多くの無形民俗文化財の活動が中止になるなど、特に民俗文化財の継承が危ぶまれています。歴史文化資源の情報発信と併行して、保存・活用の担い手づくりを進めていく必要があります。</p>